



9月定例会では教職員の定数増等を求める意見書提出に関する請願を採択

◆学校職員の加配を

問 教育環境の向上のためにさらに何が必要か意欲的に取り組んで欲しい。(青柳)

答 現場の教職員たちにもっとゆとりが欲しいという切実な声がある。もっと人が欲しいということだ。各学校の実情に応じた配置にさらに力を入れてゆきたい。

自殺予防  
対策を



◆平成19年の自殺者は18人  
問 市内の自殺者の現況はどのようなものか。実態の把握や今後の対策は。(小野)

答 平成17年は18人、18年は16人、19年は18人だった。県の対応とも連携しながら、予防対策を構築したい。

◆太宰治文学賞の共催者に  
筑摩書房が創設して三鷹

市が加わる太宰治賞に、市としても共催者で参加すべきと思うが考えはないか。(小野)

答 来年は筑摩書房創設70周年であり、出身の古田晁氏を顕彰して回顧する企画を行う予定だ。文学賞は関係機関との協議もあるので今後、研究していきたい。

◆自然を活かす観光  
問 高ボッチ、塩嶺王城パークラインの整備は。(中原巳)

答 ツツジ等植物の保護育成や崖の湯方面の道路整備は関係部署、団体と検討する。塩嶺王城パークラインについては回遊性が高まる誘客の方策を協議・検討している。



岡谷市一塩尻市一辰野町を結ぶ塩嶺王城パークライン

政権交代  
今後の  
影響は



◆新政権に対する市長の考え



関心の高かった衆議院議員選挙

問 民主党の衆議院比例定数80議席削減の公約について市長の考えは。(鈴木)

答 大政党に有利にはたらく小選挙区制の弊害の中、比例定数部分は民意をより正確に反映する極めて重大部分。国会での真剣な議論を期待する。

◆民主マニフェストの評価は

問 民主党は今回の総選挙で政権交代を実現させたが、同党のマニフェスト(政権公約)について、どのように評価しているのか。(小野)

答 ばらまき批判もあったが、国民の信頼を裏切らないような政策の展開を望みたい。

◆選挙結果・国民の心情は

問 先に行われた総選挙で自民・公明政権が国民の厳しい批判を受け退場し、民主党が300を越える議席を獲得して政権交代を実現した。市長は民主党を選択した国民の心情はどのようなものであったと考

えるか。(柴田)

答 今回の選挙は長期にわたる景気低迷による閉塞感、年金問題等による自公政権への不安、不信感などが国民に政権交代に夢と希望を与えた結果と考える。

◆非核三原則について

問 わが国は唯一の被爆国として核廃絶に取り組まなければならないが考えは。(今井)

答 平和都市推進の宣言に基づき、平和祈念の集いを開催し、平和な社会の実現、核兵器の廃絶と非核三原則の堅持を確認し、次代を担う若者を広島に派遣し平和意識の醸成に努めている。



毎年8月に開催されている平和祈念の集い